

季節風

2016.1.8

No.38

山鹿市立鹿北中学校

文責：郡 一路

あけましておめでとーいございます

二〇一六年（平成二八年）がスタートしました。保護者の皆様、地域の皆様、あけましておめでとーいございます。今年もよろしくお願い致します。中学校は、今日から三学期が始まります。三学期は、「まとめの学期」と言われますが、今までの教育活動の成果を形として出していくことが求められます。

「結果で勝負する」との気持ちでしっかりと頑張っていく決意しております。

さて、一月は「行く月」、二月は「逃げる月」、三月は「去る月」と言われるようにとても早く過ぎていくのが三学期です。今まで以上に一日一日を計画的に過ごすことが大切となります。特に、三年生は、これから

が勝負の時です。体調を整え、最高の力が発揮できるよう準備を整えていきましょう。

一・二年生は、三年生からバトンを引き継ぐための力をたくわえ、実際にバトンを引き継ぐための覚悟を持ちましょう。

「今日は目的であり、明日への最高の手段である」という言葉があります。

この言葉は、今日を精一杯悔いなく生きることが、明日の自分を最高に輝かせることができるという意味です。

大切なのは、今日であり、今です。この瞬間をどれだけ真剣に、大切にできるかが、未来の自分に大きな影響を与えていきます。

今、この時、この瞬間を大切にしていきましょう。

◇始業式での話◇

静岡聖光学院ラグビー部

校則で練習は週3日以内、1日の練習時間は、60分〜90分と決められている学校の弱小ラグビー部が、なぜ、花園（全国大会）に出場することができたのか？

＜逆転の発想1＞

練習時間が少ないというのは、考え方を変えれば、練習以外の時間が多いということです。つまり、練習をしていない時間（日常生活）をトレーニングに変えることができるれば、練習時間の少なさが弱点とはならない。そこで、練習以外の時間をどうやってトレーニングに置き換えるかを考えた。

1回戦	○	倉吉北
聖光 105 対 0		
2回戦	×	久我山
聖光 7 対 35		

＜逆転の発想2＞

トレーニングは量ではなく質。練習が一日60分しかできないから足りない、ではなく、60分しか耐えられない練習、すなわち61分やったら倒れてしまうような密度の濃い練習にすればいいと考え

た。練習で自分の番が来るまで並んでいる時間をなくす。水を飲みに行くのも、先生が集合と言っても全力ダッシュ・・・。

＜逆転の発想3＞

試合中、水を飲む時間にミーティング。休むための時間ではない。ミーティングでは、「気合いを入れていこう」といった精神論はなし。60秒後には次の具体的行動が決まり、組織力が上がるような話し合いを徹底する。トライを取った後も喜び合うのではなく、「トライは取れたけどこんなに長く攻撃に時間をかけるべきじゃなかった」というように、前回のプレーをどうすれば上回れるか、結論を出してから、次のプレーに臨む。それがたとえ失敗しても、意図を持って、狙いを持ってやったかどうかが大切だということ。

一人ひとりが自分は今の状況で何ができるか、この環境のままではどこまでやれるか、そして、自分の特長は何なのか、自分の特長をどう作っていくのか、そんなチャレンジをし続けられる人を育てていきたいと考えて、部活動に取り組んできたことが、結果として、全国に結びついた。

環境に負けない、そして、現状を打破する力を！

聖光学院に勝利した、國學院久我山高校も、18時10分完全下校。「全国レベルだから」とか「大事な公式戦前だから」という例外は通用しない。朝練、自主連もなし。必要以上に恵まれていないから、与えられていないからこそ、逆に、「限られた時間に集中できる、工夫が生まれる」と選手も監督も語っている。

自分自身を振り返ってみても、多くの場合、全てがそろっているというのではないと思います。厳しい環境や条件の中でも、工夫して、自分を成長させ、目標を達成することが求められます。そんな時に、逃げたり、責任転嫁したり、愚痴を言うのではなく、どうすれば、乗り越えられるのかを考え実践でき、そんな力を身につけてほしいと思います。

そのための中学校生活でもあるのです。

